



2026年6月期第3四半期 決算説明会資料

株式会社インテリジェント ウェイブ

2026年5月15日

2026年6月期 3Q 業績と成果

通期業績予想修正と今後の方針

参考資料

2026年6月期 3Q累計 業績サマリー

- 売上は堅調に推移する一方、利益は品質対応およびセキュリティ領域の製品構成の影響を受け減益
- 受注は、前年の複数年契約案件の影響等により減少するが、システム開発の受注は増加

単位：百万円

	25年6月期3Q累計		26年6月期3Q累計		増減	前同比
	金額	売上比	金額	売上比		
売上高	11,530	-	12,497	-	+967	+8.4%
売上総利益	3,533	30.6%	3,483	27.9%	△49	△1.4%
販売管理費	2,088	18.1%	2,122	17.0%	+34	+1.6%
営業利益	1,445	12.5%	1,361	10.9%	△83	△5.8%
経常利益	1,460	12.7%	1,391	11.1%	△68	△4.7%
四半期純利益	1,024	8.9%	951	7.6%	△72	△7.1%
受注高	16,133	-	10,976	-	△5,156	△32.0%
受注残高	21,187	-	18,790	-	△2,396	△11.3%

2026年6月期 3Q累計 売上高（事業領域別）

- 決済領域は、主力のFEP・不正検知分野が伸長
- データ通信・分析基盤領域は、証券会社向けシステム開発等により増加

単位：百万円

	25年6月期 3Q累計	26年6月期 3Q累計	増減	前同比
売上高	11,530	12,497	+967	+8.4%
決済	9,452	10,374	+922	+9.8%
FEP	4,091	4,521	+430	+10.5%
不正検知	1,866	2,541	+674	+36.2%
アクワイアリング	2,191	1,904	△287	△13.1%
その他	1,302	1,406	+104	+8.0%
セキュリティ	1,481	1,470	△10	△0.7%
データ通信・分析基盤	597	652	+55	+9.2%
参考) クラウドサービス	2,508	3,124	+615	+24.5%

* FEP（Front-End Processor）システム：クレジットカード決済処理に必要なネットワーク接続やカードの使用認証等の機能をもつハードウェア、及びソフトウェア

2026年6月期 3Q累計 売上高（製品カテゴリ別）

- システム開発は、前同比で減少するも、計画に対しては一定程度確保
- クラウドサービスは、ユーザー数増加や、既存ユーザーの機能追加等により増加
- 他社製品は、FEPシステム更改により増加

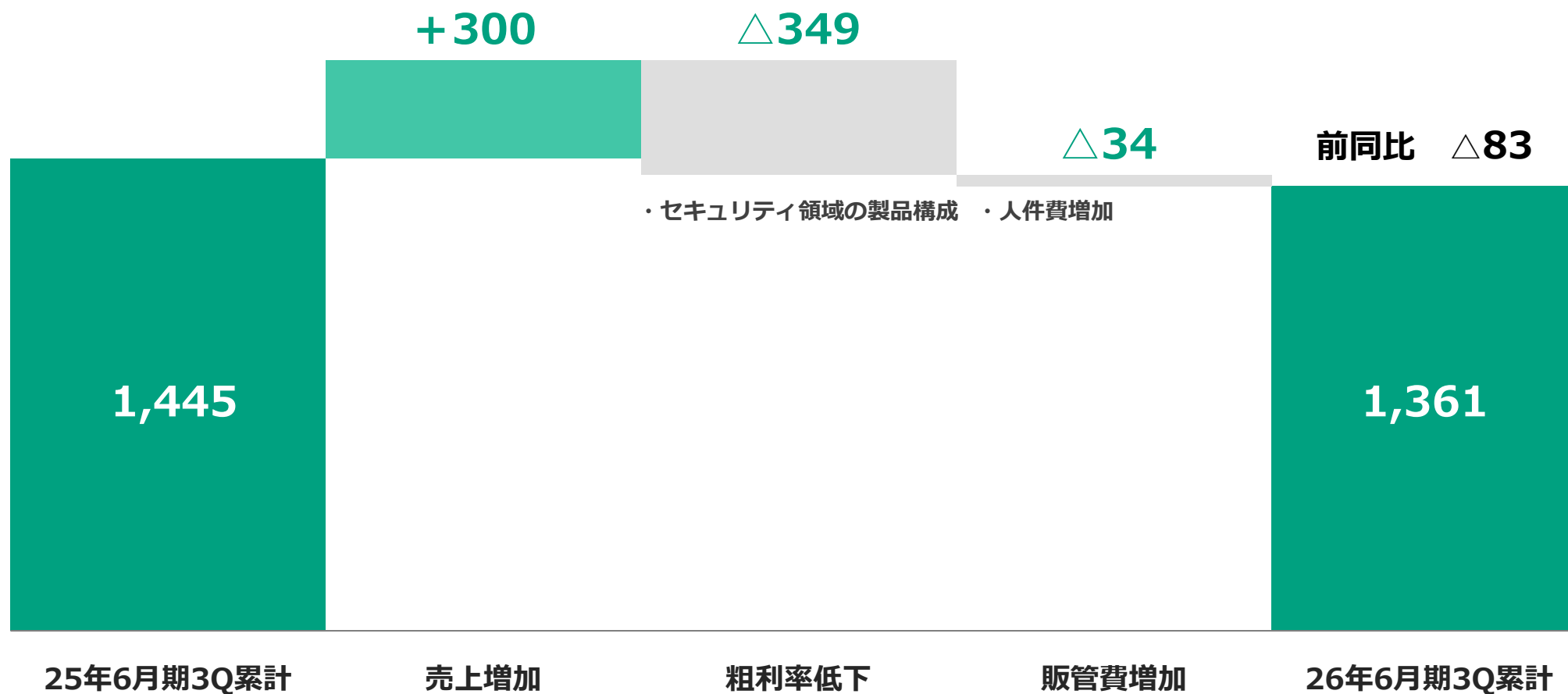
単位：百万円

	25年6月期 3Q累計	26年6月期 3Q累計	増減	前同比
売上高	11,530	12,497	+967	+8.4%
システム開発	5,135	4,385	△749	△14.6%
保守	1,195	1,250	+54	+4.5%
自社製品・サービス	346	601	+254	+73.6%
他社製品（ハードウェア等）	863	1,665	+801	+92.8%
クラウドサービス	2,508	3,124	+615	+24.5%
セキュリティ	1,481	1,470	△10	△0.7%

2026年6月期 3Q累計 営業利益

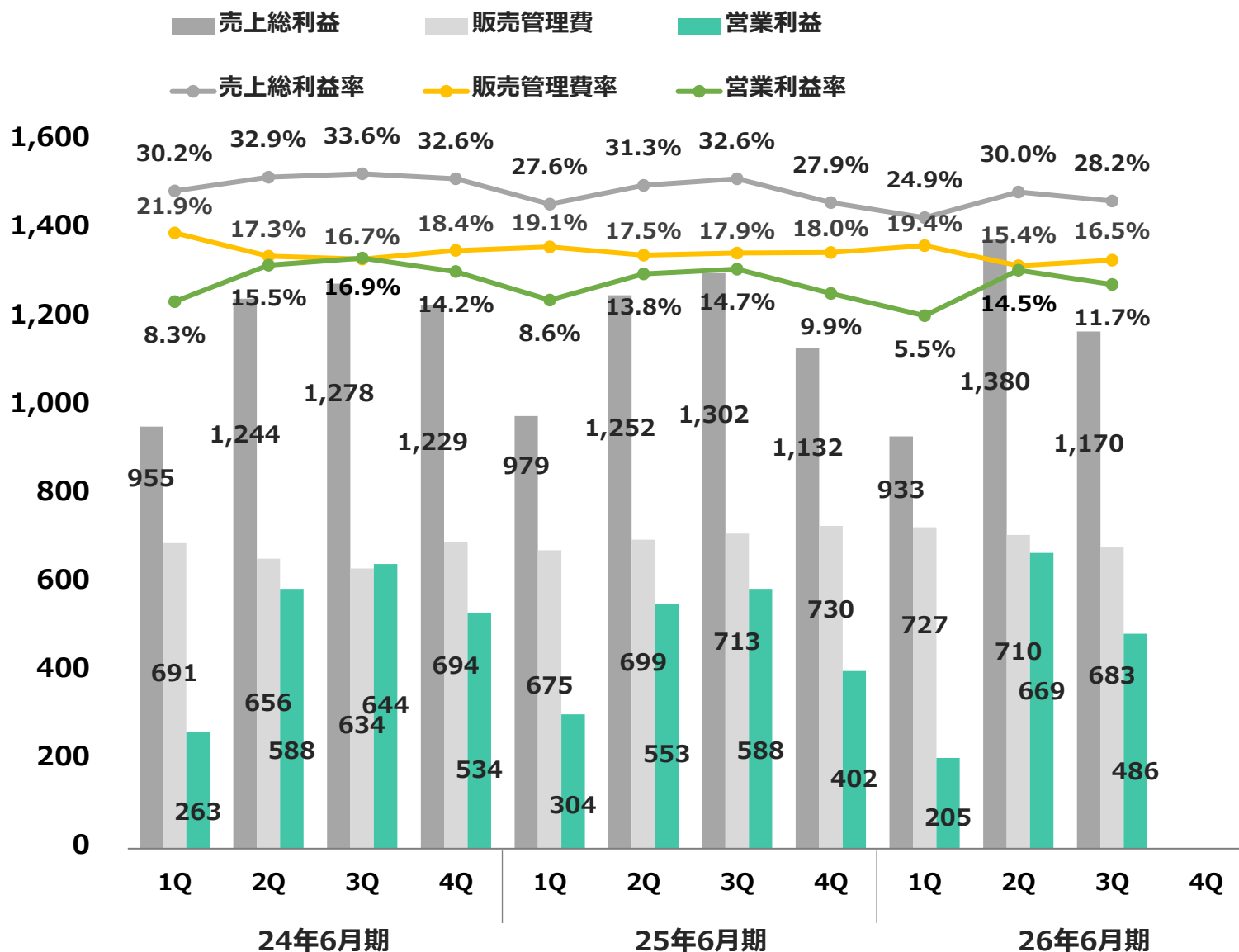
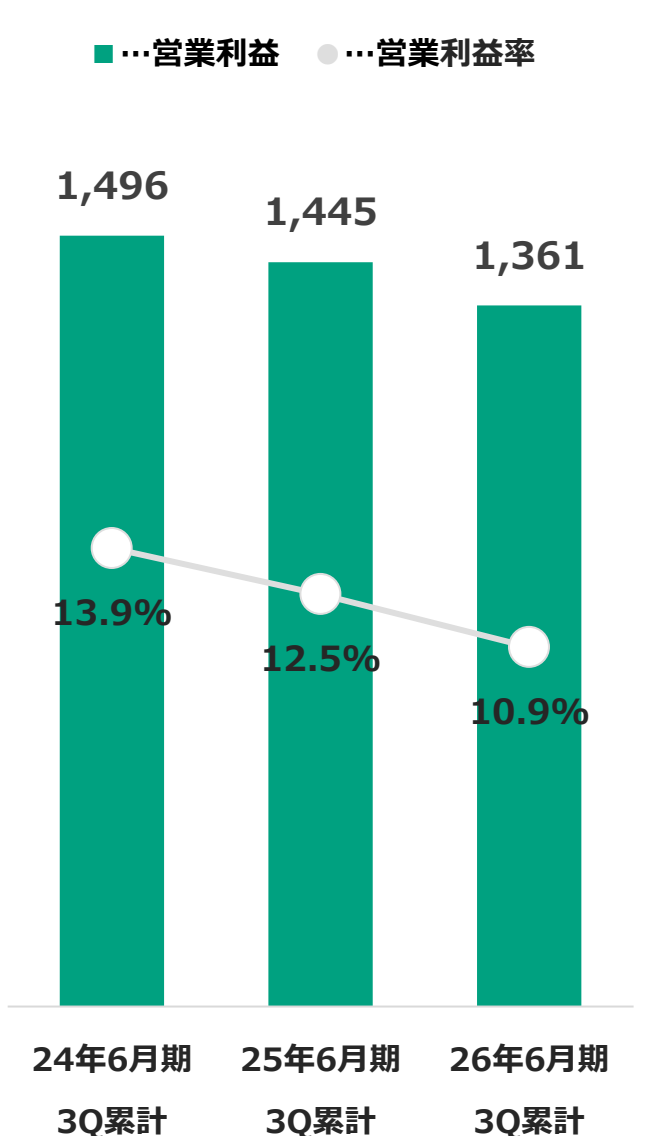
- 売上増加効果がある一方、クラウドサービスを提供する一部顧客への品質対応や、セキュリティ領域の製品構成の影響を受け粗利率は低下

単位：百万円



品質対応影響

参考) 2026年6月期 3Q累計 営業利益



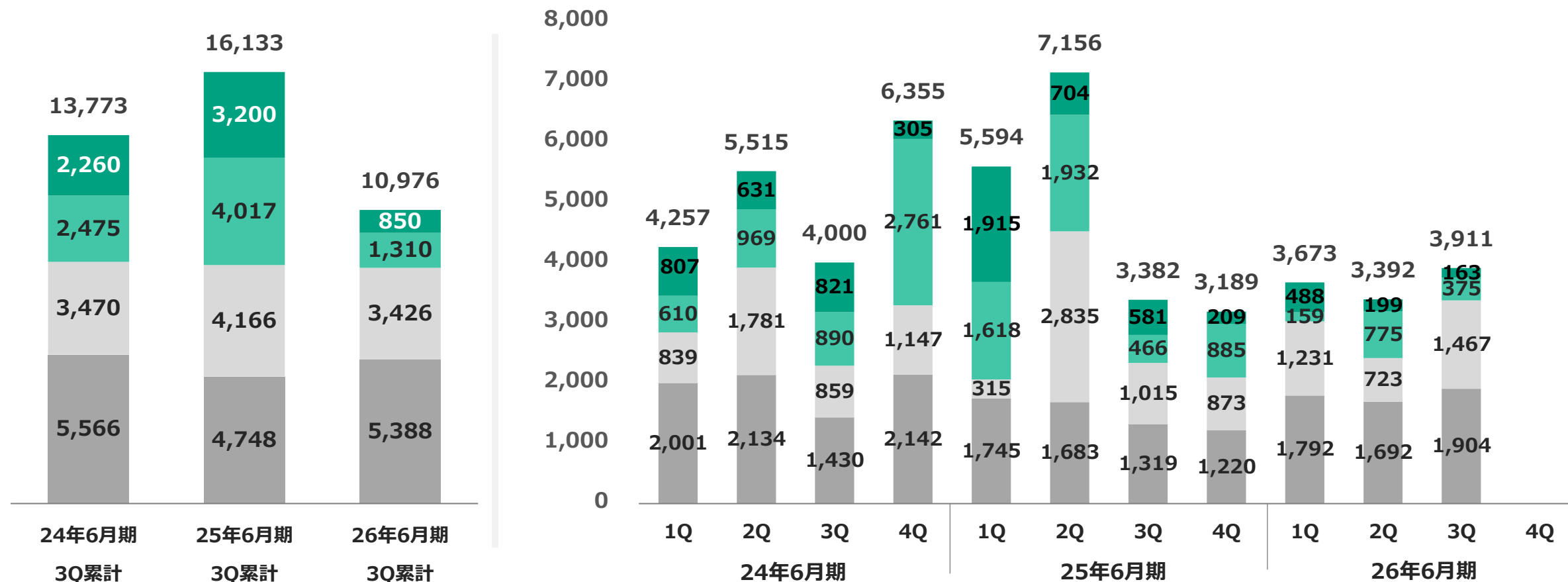
単位：百万円

受注高（製品カテゴリ別）

- システム開発は、主要顧客の更改案件等を複数受注し増加
- クラウド・セキュリティ・インフラ運用など、ストック型の複数年契約案件の受注が減少
- クラウドサービスは、来期初にかけて複数の大型案件の受注を予定

■ …システム開発
 ■ …保守、自社製品・サービス、他社製品（ハードウェア等）
■ …クラウドサービス
 ■ …セキュリティ

単位：百万円

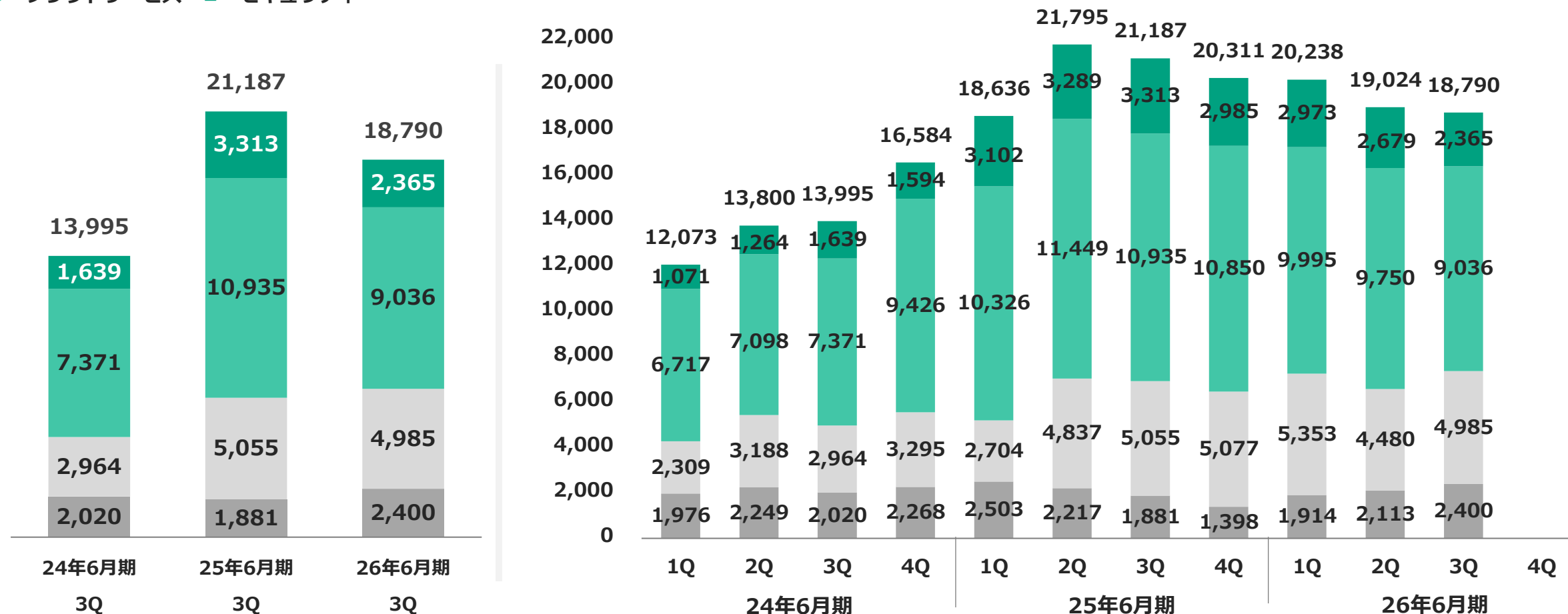


受注残高（製品カテゴリ別）

- システム開発は、主要顧客の更改案件等により増加
- クラウドサービス、セキュリティ、インフラ運用サービス等、ストック型の複数年契約案件の受注残高は縮小

■ …システム開発
 ■ …保守、自社製品・サービス、他社製品（ハードウェア等）
 ■ …クラウドサービス
 ■ …セキュリティ

単位：百万円



2026年6月期 3Q 業績と成果

通期業績予想修正と今後の方針

参考資料

2026年6月期 業績予想修正

- 一部顧客向け案件における品質対応が長期化した影響により、通期業績予想を下方修正
- 決済市場においては、カード会社や決済事業者におけるIT投資は引き続き底堅く推移
- 品質問題を契機として顕在化した会社全体の課題に対し、必要な是正措置を順次実施

単位：百万円

	25年6月期		26年6月期				
	実績	期初予想※1	修正予想※2	差額	前期比※1	前期比※2	
売上高	15,596	17,400	17,200	△200	+11.6%	+10.3%	
営業利益 (率)	1,848 (11.9%)	2,400 (13.8%)	2,000 (11.6%)	△400	+29.8%	+8.2%	
経常利益 (率)	1,890 (12.1%)	2,440 (14.0%)	2,050 (11.9%)	△390	+29.1%	+8.4%	
当期純利益 (率)	1,349 (8.7%)	1,690 (9.7%)	1,420 (8.3%)	△270	+25.2%	+5.2%	

- 当社の現状と課題については、下記の通り
- 中期経営計画の取組みを継続し、事業基盤の整備および収益力改善に向けた対応を進めていく

当社の現状と課題

① 決済案件の規模拡大・多様化への対応

- 開発案件の大型化、クラウドサービスの拡大、インフラ運用案件等への対応
- インフラ環境の最適化、共通インフラへの集約
- 既存領域の開発生産性向上（自動化、標準化）と新規領域への開発リソースの最適配分

② 決済ソリューションの付加価値向上と領域拡大

- 決済ソリューションの提供価値拡大
- FEP・不正検知分野以外への領域拡大

③ セキュリティ領域の成長戦略

- 自社製品CWATの商品性、提供価値の見直し
- 単品販売中心のビジネスモデルからの転換

中期経営計画の取組み

① 収益基盤の強化（品質強化と生産性向上）

- 開発工程、開発体制、品質管理プロセスの再点検と是正
- PM育成、品質教育プログラムの再編
- システム運用とインフラ基盤の集約と効率化

② 決済ソリューションの付加価値向上と領域拡大

- FEP製品の新バージョン移行と製品ラインナップ集約
- カード不正利用対策の高度化
- 決済領域における提供価値拡大

③ セキュリティ領域の成長戦略

- 自社製品CWATの提供価値拡大
- 販売競争力の強化と収益モデルの多様化

2026年6月期 3Q 業績と成果

通期業績予想修正と今後の方針

参考資料

2026年6月期 3Q累計 製造原価

単位：百万円

			25年6月期				26年6月期							
			1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q				
材	料	費	17	5	6	11	15	4	4					
労	務	費	770	747	751	742	798	795	804					
経		費	819	814	790	1,003	908	945	954					
外	注	加	工	費	1,064	1,032	969	901	854	871	914			
当	期	総	製	造	費用	2,672	2,600	2,518	2,659	2,576	2,616	2,678		
期	首	仕	掛	品	高	206	383	243	282	128	242	243		
期	末	仕	掛	品	高	383	243	282	128	242	243	248		
他	勘	定	振	替	高	385	429	271	377	207	225	228		
当	期	製	品	製	造	原	価	2,109	2,311	2,207	2,436	2,254	2,389	2,445

2026年6月期 3Q累計 販売費及び一般管理費

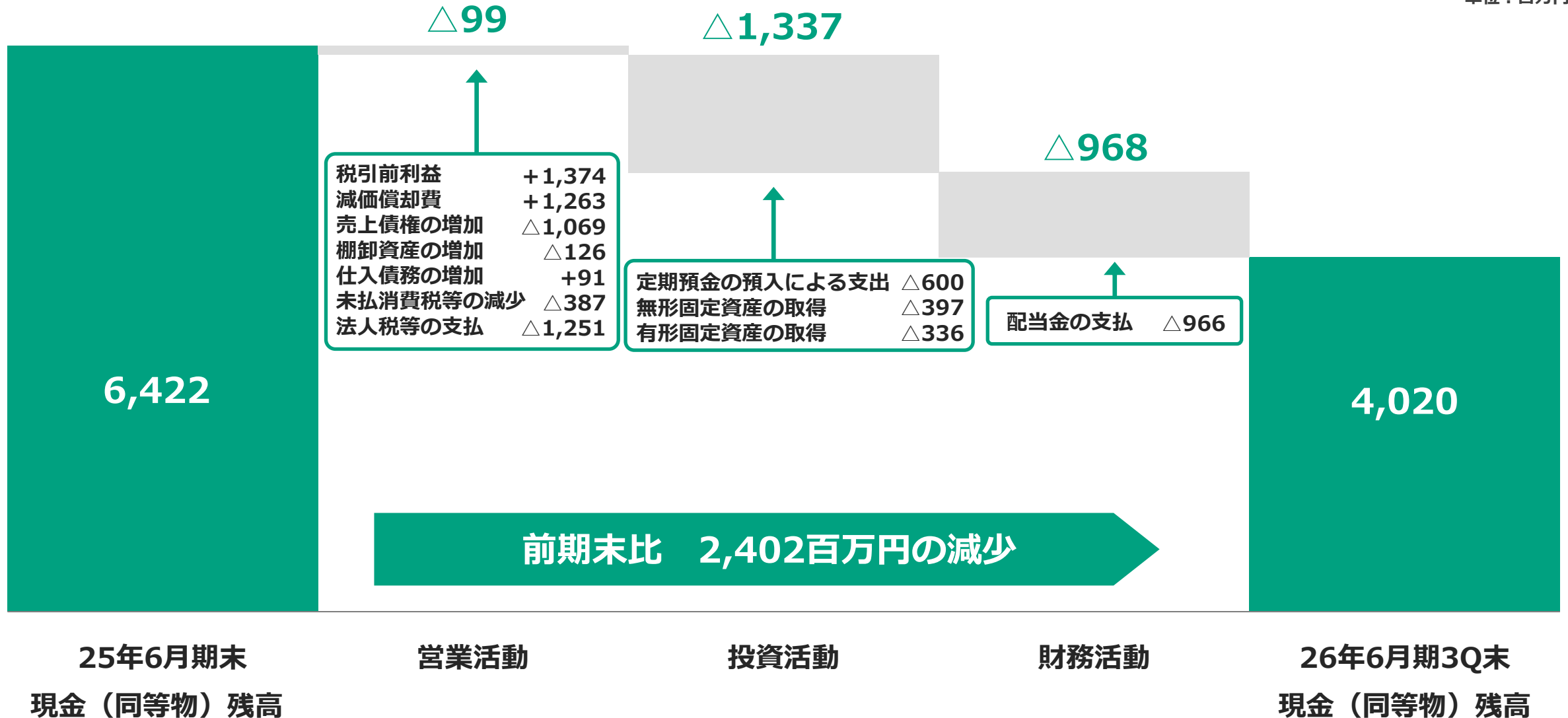
単位：百万円

	25年6月期				26年6月期			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
人件費	407	428	416	431	438	434	427	
採用・教育費	18	12	12	40	21	11	21	
設備・維持費等	108	112	110	115	115	116	114	
広告宣伝費	13	14	26	12	5	11	7	
その他	127	131	146	129	146	138	114	
合計	675	699	713	730	727	710	683	

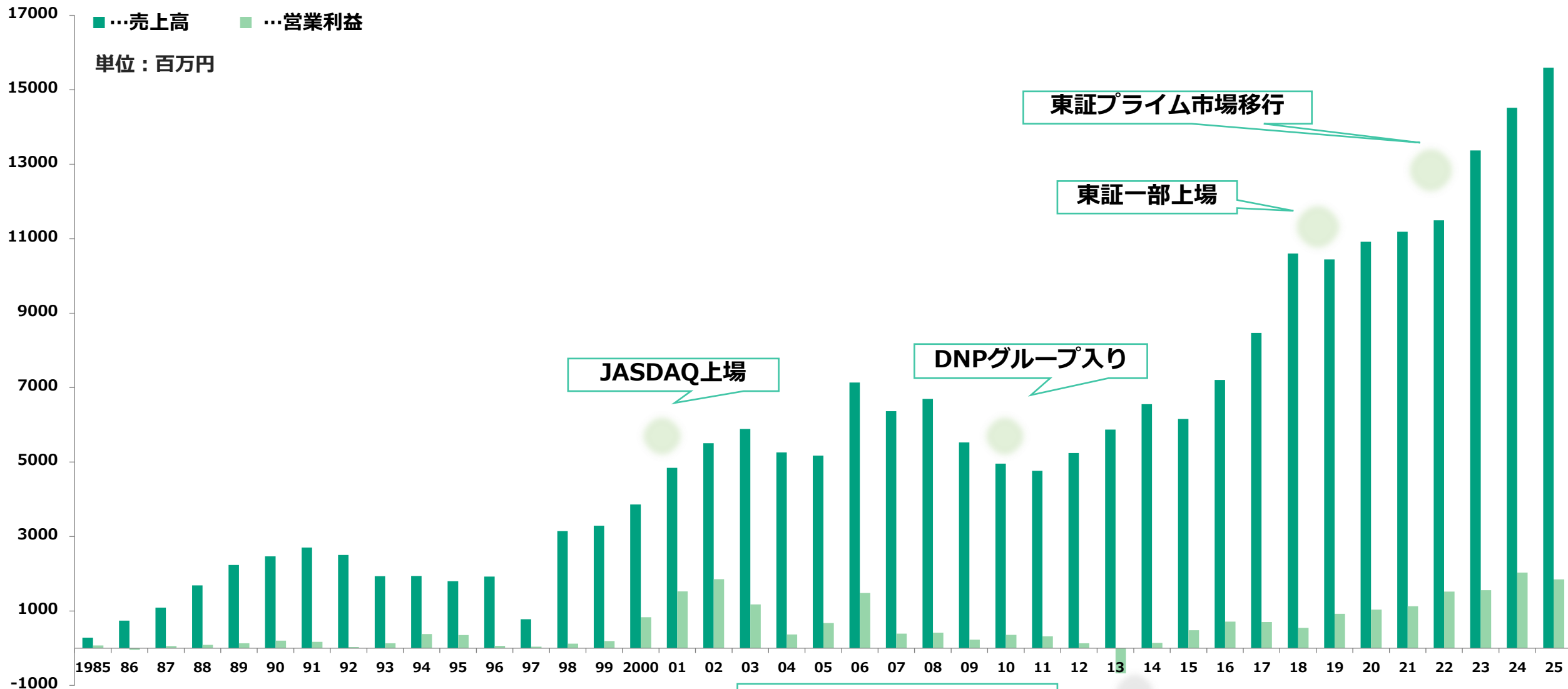
	25年6月期 3Q累計	26年6月期 3Q累計	増減
販管費	2,088	2,122	+34
		人件費	+47
		採用・教育費	+9
		設備・維持費等	+14
		広告宣伝費	△30
		その他	△6

2026年6月期 3Q累計 キャッシュ・フロー

単位：百万円



長期業績推移



※：2015年6月期まで連結業績の数値を掲載
 ※：1997年は決算期変更に伴い半年分の業績を記載

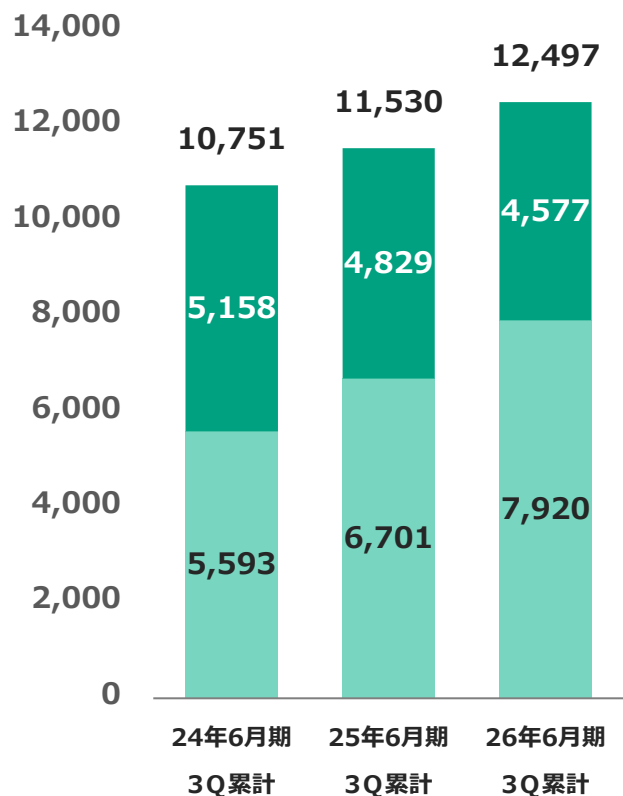
複数の大型案件が不採算化

参考) ストック/フロー別の売上高・受注残高

■ ストック/フロー別 売上高

■ ...ストック ■ ...フロー

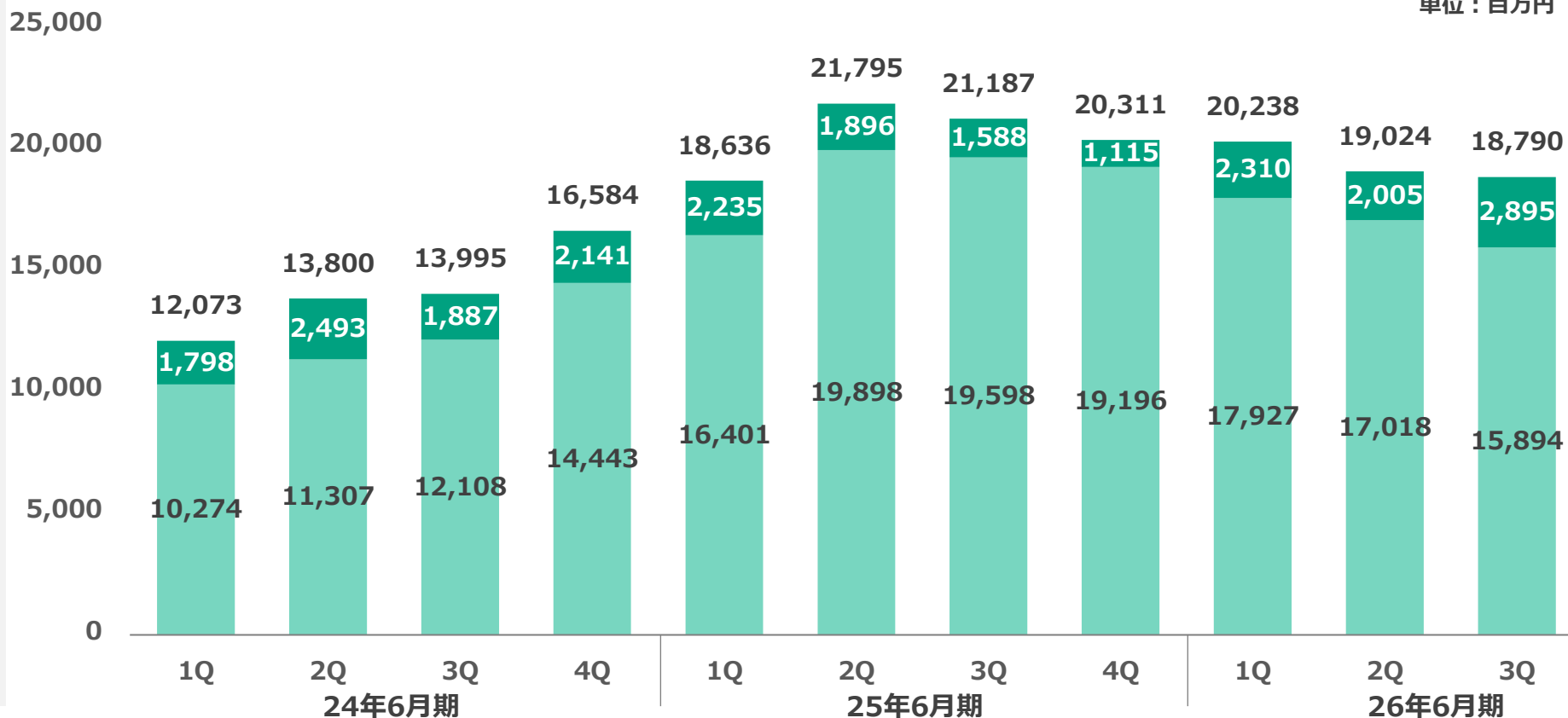
単位：百万円



■ ストック/フロー別 受注残高

■ ...ストック ■ ...フロー

単位：百万円



ストック：契約の形態や業務の実態等から判断して、定常的に一定規模の売上高を計上できる案件
 (クラウドサービスやセキュリティ製品の利用料、自社サービス、システム運用保守、自社製品や他社製品の保守等)
 フロー：契約の規模や成立時期が定常的ではない案件 (システム開発、自社製品や他社製品の販売等)

2030年代を見据えて、事業の多角化と持続的な成長の基盤づくりに取り組む。決済、セキュリティ、テクノロジー領域を中心とした、さまざまな分野で積極的に事業を展開することで、人々の生活に価値をもたらし、新たな信頼性を創造していく

「Transformation for the Future」

- (1) 決済領域は、当社独自のプロダクトや決済業界におけるポジションを活かし事業領域を拡大することで持続的な成長を図る
- (2) セキュリティ領域を第二の事業の柱へと成長させる
- (3) コア技術を活用した、データ通信・分析基盤領域を、成長市場へ展開し、決済やセキュリティに続く、第三の柱を創出する
- (4) DNPグループとの連携をより進め、それぞれの顧客基盤を活用しながら事業競争力を強化、グループ・シナジーを創出する



IWIのコア技術：高速・大量のデータ通信/分析処理

2030年代の市場環境に向け、新たな信頼性を創造する製品・サービスを開発し続けていくため、「事業」「技術」「人財」の3つの“変革”に注力する



01 事業の変革

- ①既存事業と新規事業の価値最大化、保有ソリューションの価値最大化
- ②決済領域から新領域への事業拡大
- ③収益構造見直しによる収益性向上。プロダクト指向への回帰

02 技術の変革

- ①コア技術と最先端技術・DXとの掛け合わせによる優位性の確保、価値の最大化、価値の創出
- ②開発、保守、運用の合理化


03 人財の変革

- ①事業企画人財の育成、コンサル機能強化
- ②R&D機能の強化
- ③事業戦略に即した人財流動化

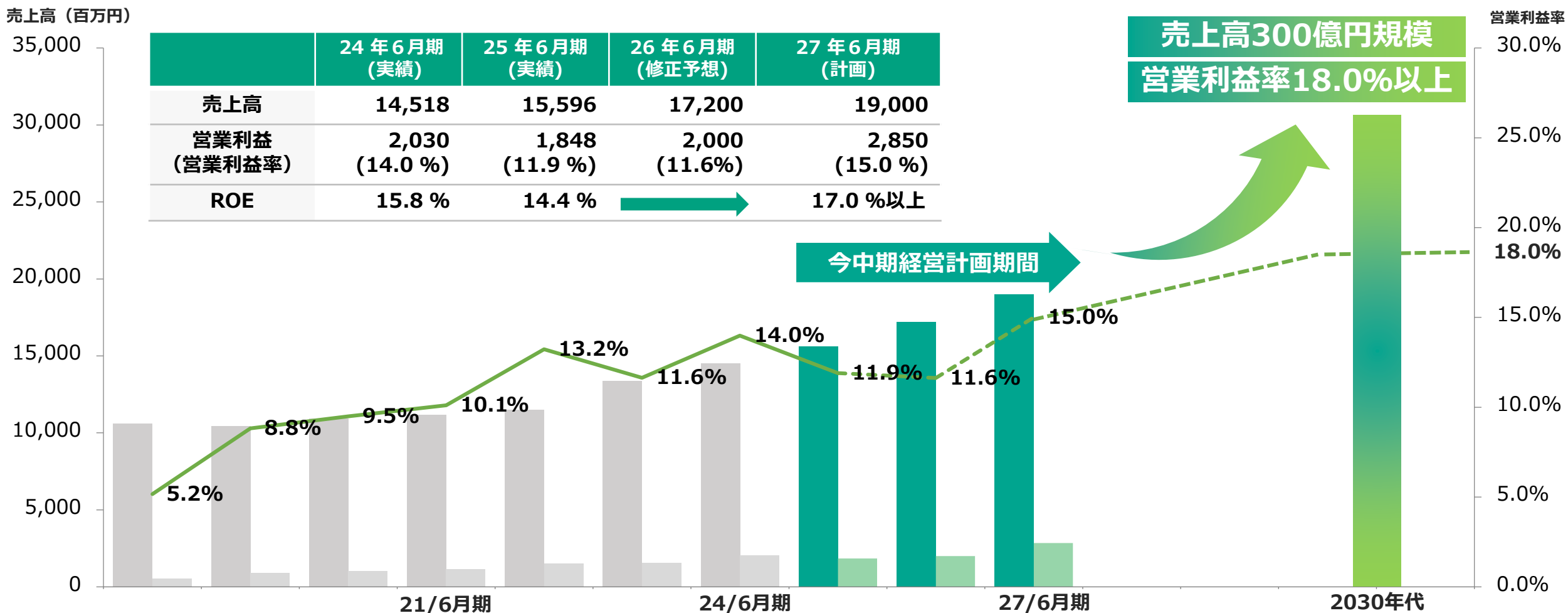
数値目標

最終年度の2027年6月期は、売上高190億円、営業利益28.5億円、ROE17.0%以上を目指す。
 また中長期的には、多角化による事業領域の拡大と、各領域における収益性の向上により、
 売上高300億円規模、営業利益率18.0%以上を目指す

売上高 (百万円)

	24年6月期 (実績)	25年6月期 (実績)	26年6月期 (修正予想)	27年6月期 (計画)
売上高	14,518	15,596	17,200	19,000
営業利益 (営業利益率)	2,030 (14.0%)	1,848 (11.9%)	2,000 (11.6%)	2,850 (15.0%)
ROE	15.8%	14.4%		17.0%以上

売上高300億円規模
 営業利益率18.0%以上



設立 1984年12月27日 (2025年12月末現在)

所在地 東京都中央区新川1-21-2 茅場町タワー

従業員数 513名

親会社 大日本印刷株式会社 (50.73%*)

資本金 843,750千円

発行済株式数 26,340,000株 株主数 11,917名

株式数比率		株主数比率	
個人・その他	38.43%	個人・その他	98.45%
金融機関	2.87%	金融機関	0.05%
国内法人	51.19%	国内法人	0.42%
外国法人等	4.10%	外国法人等	0.85%
証券会社	3.18%	証券会社	0.23%
自己名義株式	0.23%	自己名義株式	0.01%

*自己株式数を除く発行済み株式数に対する割合



**本資料は、当社の会社説明・事業説明に関する情報の提供を目的としたものであり、
当社が発行する有価証券の投資を勧誘することを目的としたものではありません。
本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断であり、
その情報の正確性、完全性を保証し又は約束するものではなく、
また今後、予告なしに変更されることがありますので、ご注意ください。**

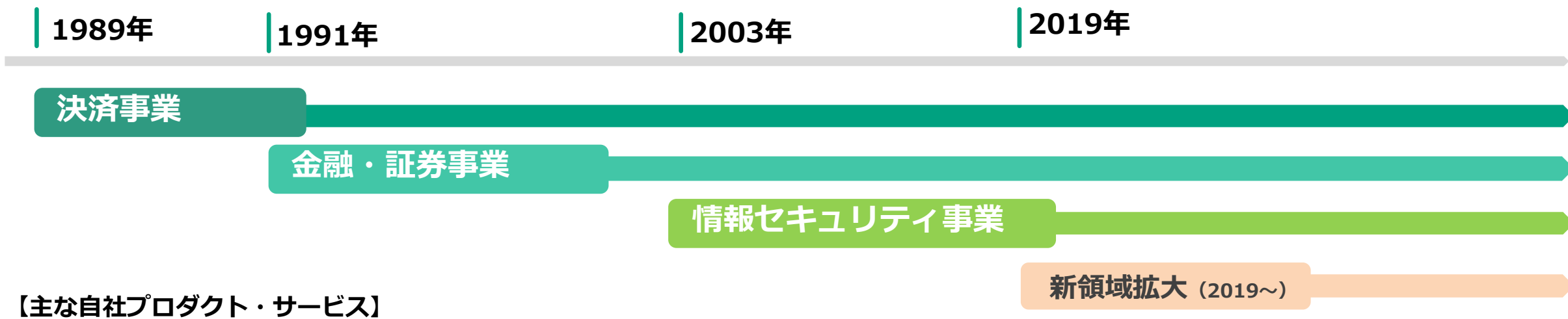
株式会社インテリジェント ウェーブ

経営管理本部 IR・サステナビリティ推進室

E-mail: ir_info@iwi.co.jp

参考) 事業変遷

- ・ 1980年代に、国内における24時間365日オンラインカード決済の実現に貢献
決済ネットワーク接続・認証システム「NET+1」を開発し、トップシェアを獲得
- ・ 高速・大容量のデータ通信・分析技術をコア技術に、自社プロダクトを開発
- ・ 2003年に、内部情報漏洩対策製品「CWAT」を開発し、情報セキュリティ事業に参入



【主な自社プロダクト・サービス】

1989年
決済ネットワーク接続・
認証システム

NET+1
(ネットプラスワン)

1996年
メッセージング
ミドルウェア

RIX
(リックスエージェント)

1999年
カード不正検知
システム

ACEplus
(エースプラス)

2003年
内部情報漏洩対策製品

CWAT
(シーワット)

2019年
放送業界向けIP放送
パケット監視ソリューション

2016年~
決済システムのクラウドサービス
IOASIS™ IFINDS

2022年
メディアデータ
複合分析ソリューション

2022年~
次世代不正対策
プロジェクト
FARIS
(ファリス)

参考) キャッシュレス決済の仕組み

店舗や、ECサイト等において、キャッシュレス決済を利用すると、いくつかの事業会社のシステムを経由し、決済が完了する

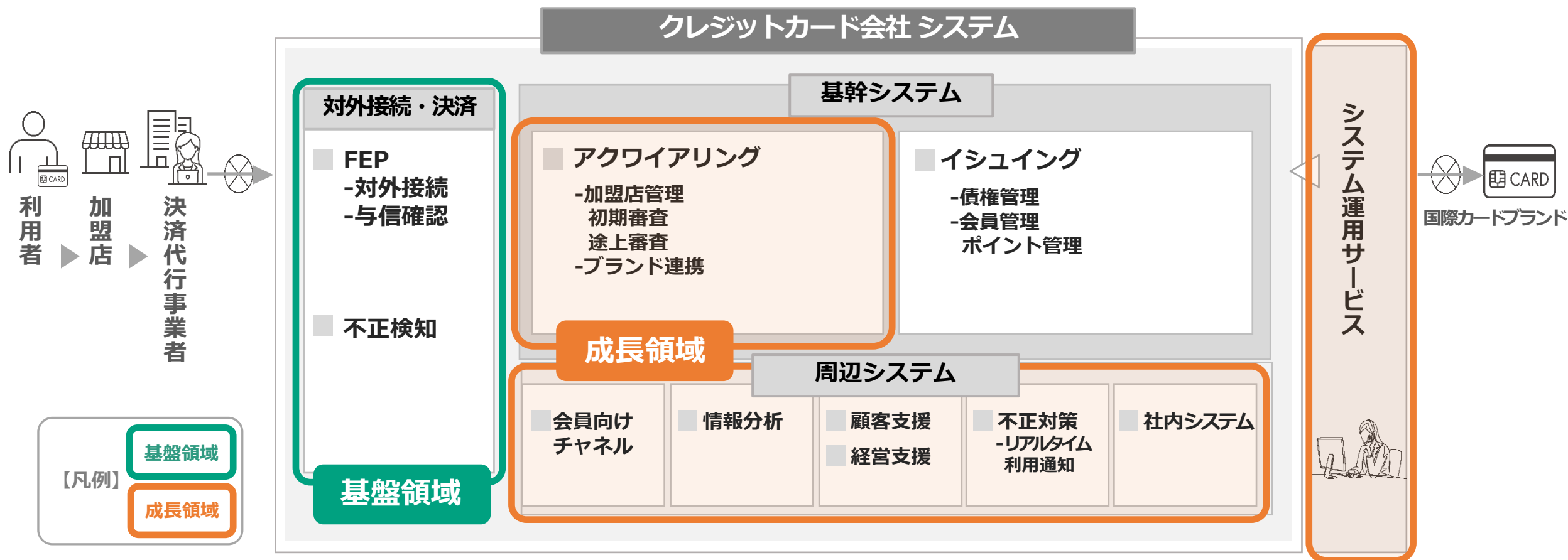
■ 当社領域



※ : 一部ネットワークおよびデータの流れ等を省略しています

参考) クレジットカード会社における当社決済領域

クレジットカード会社システムの対外接続部分において、シェアが高い。
今後は、アクワイアリング分野や、システム運用サービス等を中心に領域拡大を進める



参考) 当社の決済ソリューション

FEP、不正検知、アクワイアリング分野は、自社プロダクト・サービスをベースにシステムを提供

分野	機能	オンプレ開発	クラウドサービス
FEP <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">シェア 73%*</div>	24時間365日無停止で各種決済ネットワークとの接続や、カードの利用認証（オーソリ取引）を実施	■ 決済ネットワーク接続・認証システム NET+1	■ 決済ネットワーク接続・認証サービス
不正検知 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">シェア 62%*</div>	カード利用時に、リアルタイムに不正利用を検知。ルール判定、AIスコアリング等によって不正対策を実施	■ カード不正検知システム ACEplus	■ カード不正検知サービス IFINDS FARIS ■ FARIS 共同スコアリングサービス Powered by PKSHA Security
アクワイアリング	売上管理、加盟店精算等、アクワイアリング事業に必要な全ての機能を提供	■ アクワイアリング業務システム IOASIS™	■ アクワイアリング業務サービス IOASIS™

※クレジットカード会社主要25社における導入社数（当社調べ、2025年9月時点）

※クラウドサービスの提供も含む

オンプレ開発



- 導入に必要なシステム一式を顧客が保有
一定期間ごとにシステム更改
- 顧客ニーズに応じて柔軟にカスタマイズ可能
- 大手カード会社の高いシェアを保持

クラウドサービス



- 当社が保有するシステムを顧客に提供
月額料金制（複数年契約）
- 初期投資費用が抑えられ、中規模カード会社・新規参入企業などが利用